

(表中敬称略)

|               |                               |                           |       |
|---------------|-------------------------------|---------------------------|-------|
| 会議名           | REIM産学連携コンソーシアム合同会議（令和3年度第1回） |                           |       |
| 日 時           | 令和3年6月11日（金）13:30～15:30       |                           |       |
| 場 所           | メルパルク 京都研修室3 及びオンライン          |                           |       |
| 出席者（計10名）     |                               |                           |       |
| 役職等           | 所属（学校等・部門・部署）                 | 役職                        | 氏名    |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会                  | 部長                        | 先本 勉  |
| 産             | 西日本高速道路株式会社                   | 技術研修担当課長（茨木技術<br>研修センター長） | 福富 章  |
| 産             | 西日本高速道路株式会社                   | 関西支社 構造担当部長               | 佐溝 純一 |
| 産             | 一般社団法人建設コンサルタン<br>ツ協会近畿支部     | 参与（建コン協近畿）                | 田底 成智 |
| 産             | 一般財団法人橋梁調査会                   | 近畿支部 支部長                  | 別木 孝  |
| 産             | 国土交通省近畿地方整備局                  | 技術調整管理官                   | 増田 安弘 |
| 学（代表校）        | 舞鶴工業高等専門学校                    | 校長                        | 内海 康雄 |
| 学（代表校）        | 舞鶴工業高等専門学校                    | 教授・社会基盤メンテナンス<br>教育センター長  | 玉田 和也 |
| 学（代表校）        | 舞鶴工業高等専門学校                    | 特命准教授                     | 嶋田 知子 |
| 学（代表校）        | 舞鶴工業高等専門学校                    | 特命助教                      | 掛 園恵  |
| オンライン出席（計28名） |                               |                           |       |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会                  | 理事・技師長                    | 黒谷 努  |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会                  | チーフ                       | 小室 篤史 |
| 官             | 京都府北部社会基盤メンテナン<br>ス推進協議会      | 副会長（京都府中丹広域振興<br>局建設部長）   | 西村 祥一 |
| 学（連携校）        | 福島工業高等専門学校                    | 校長                        | 山下 治  |
| 学（連携校）        | 福島工業高等専門学校                    | 特命助教                      | 江本 久雄 |
| 学（連携校）        | 福島工業高等専門学校                    | 特命助教                      | 浅野 寛元 |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 校長                        | 原田 信弘 |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 教授                        | 井林 康  |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 准教授                       | 宮寄 靖大 |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 准教授                       | 陽田 修  |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 助教                        | 白井 一義 |
| 学（連携校）        | 長岡工業高等専門学校                    | 特命助教                      | 丸山 聡  |
| 学（連携校）        | 福井工業高等専門学校                    | 校長                        | 田村 隆弘 |
| 学（連携校）        | 福井工業高等専門学校                    | 教授                        | 辻野 和彦 |
| 学（連携校）        | 福井工業高等専門学校                    | 助教                        | 蓑輪 圭祐 |

| 役職等    | 所属（学校等・部門・部署）        | 役職                        | 氏名     |
|--------|----------------------|---------------------------|--------|
| 学（連携校） | 福井工業高等専門学校           | 特命助教                      | 宮川 清剛  |
| 学（代表校） | 舞鶴工業高等専門学校           | 准教授                       | 毛利 聡   |
| 学（代表校） | 舞鶴工業高等専門学校           | 総務課長                      | 増永 武夫  |
| 学（代表校） | 舞鶴工業高等専門学校           | 総務係長                      | 芦田 康弘  |
| 学（連携校） | 香川高等専門学校             | 校長                        | 田中 正夫  |
| 学（連携校） | 香川高等専門学校             | 准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長     | 林 和彦   |
| 学（連携校） | 香川高等専門学校             | 助教                        | 長谷川 雄基 |
| 学（連携校） | 香川高等専門学校             | 助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長 | 入江 正樹  |
| 学（連携校） | 放送大学学園               | 理事・副学長                    | 近藤 智嗣  |
| 学（連携校） | 放送大学学園               | オンライン教育センター長・教授           | 中谷 多哉子 |
| 学（連携校） | 放送大学学園               | 企画係長                      | 東海林 壽朗 |
| 学（協力校） | 国立大学法人長岡技術科学大学       | 准教授                       | 宮下 剛   |
| 官      | 京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会 | 京都府中丹東土木事務所               | ※中野 亘  |

※オブザーブ参加

1. 挨拶
  - (1) 議長挨拶 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄
2. 2021年度KOSEN-REIM事業実施計画
3. リカレント教育プログラムの開発
  - ・専門特修講座【建設ICT】の開発状況
  - ・橋梁診断技術者認定講座【橋梁診断】の開発状況
4. 実務家教員育成研修プログラム実証講座
  - ・受講者の公募・選考結果等
5. 各部会からの報告
  - ・人材育成・活用システム設計部会（令和3年度第1回）報告
6. 意見交換『リカレント教育の支援体制』

以上



写真 6.2.1 舞鶴高専 内海校長挨拶



写真 6.2.2 会場風景



写真 6.2.3 会場風景



写真 6.2.4 会場風景



写真 6.2.5 オンライン参加者

## 参考資料 2

### REIM 産学連携コンソーシアム合同会議 議事録

#### REIM産学連携コンソーシアム合同会議（令和3年度第1回）議事録

日時：令和2年6月19日（金）15:00～17:00

場所：キャンパスプラザ京都 第3会議室

（文中敬称略）

#### 1. 挨拶

（1）議長挨拶 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄

#### 2. 2021年度KOSEN-REIM事業実施計画

✓資料 2-1～2-4 を参照

#### 3. リカレント教育プログラムの開発

##### ・専門特修講座【建設ICT】の開発状況

✓9月、12月に実証講座を開催する予定である。

##### ・橋梁診断技術者認定講座【橋梁診断】の開発状況

✓診断編は、技術資格の認定試験問題の作成も重要である。

✓合同会議でもアイデアを出して協働していく。

#### 4. 実務家教員育成研修プログラム実証講座

##### ・受講者の公募・選考結果等

✓資料 4 を参照

✓18名の応募があり、書類選考の結果15名を受講生に選出した。

✓全ての受講生が、技術士や高い専門性を示す技術資格を保有している。

✓既に大学・高専で非常勤講師を経験している方もあり、教える技術を勉強したいという声が多くある。

#### 5. 各部会からの報告

##### ・人材育成・活用システム設計部会（令和3年度第1回）報告

✓部会議事録を参照

✓一般財団法人化に対して大きな反対意見はない。法人化に向けて取組を進める。

#### 6. 意見交換『リカレント教育の支援体制』

- ✓ 高専は15歳の学生を育てるとともに、リカレント教育を進めていく。本事業は4年目以降、徐々に自立を促される。建設ICTなどの新技術の活用とともに地道な教育も必要。この事業を

継続するため財団法人化を目指す。学生への波及効果も必要。先生方のお考えを。産官の皆様からは資金面のアイデアをいただければ。(玉田委員)

- ✓ 本校の体制もまだまだ。資金面は気になる。ME 新潟は受講料無料だが継続性が問題。内容のアップデートにどのくらいの力をかけるかも気になる。(井林委員)
- ✓ 現役学生へのリカレント教育コンテンツの適用については？(玉田委員)
- ✓ 学生の教育に使えたら効果が高いと思う。(井林委員)
- ✓ 十分なボリュームがあり、専攻科生向けの維持管理の授業で生かしていきたい。フィールドに出て橋をみると理解が深まる。(江本委員)
- ✓ 新設法人にはeラーニングのブラッシュアップ、ID発行、リカレント教育の内容の追加・更新などの役割を期待する。また、コンテンツをいかに地方公共団体や建設業界などに広げることや、現在育成している実務家教員が高専教育やリカレント教育で技術伝承することに介在することを考えている。(玉田委員)
- ✓ 研修によって知識を高めること、社会人にとってはそのインセンティブが重要。学生向けには、現場教育の教材としてフィールドのマッチングができるといい。(増田委員)
- ✓ 技術事務所の研修などは、地方自治体にもオープンだが、そこでカバーしきれないところを狙いたい。(玉田委員)
- ✓ 国交省の研修は、橋梁メンテナンス初級が中心。この研修では、診断に必要なノウハウでなく、全国共通の教材によりメンテナンスの知識を教える。1週間となると市町村の職員は制約条件が多く参加しにくく、特に小規模な自治体は人員の都合もあり参加が厳しいことから、小規模なロットの研修は有効である。(増田委員)
- ✓ 実務家教員の申込状況のよさ、リカレント教育の大切さ、タイミングが良い。高専のネットワークを使って広まるとよい。(原田委員)
- ✓ 直近の課題として、eラーニングシステムの保守・管理に費用が掛かっており、これを関係機関でどのように負担するか、がある。(玉田委員)
- ✓ 放送大学ではデータサイエンス教育に力を入れている。ほかにも使えそうな教材があり、KOSEN-REIMでも活用してほしい。費用はかかるが、人をかけて1から作るほどのお金はかからない。北海道大学では放送大学の教材を使っている事例もある。技術士の制度改革で、CPDによる制度更新、技術士のリカレント教育にも目を向けていただけるとよい。(中谷委員)
- ✓ 現在、専門特修講座【建設 ICT】の開発で、eラーニングコンテンツの提供を行っている。その他、オンライン講座を提供しており、映像コンテンツなどでもお役に立てる。(東海林委員)
- ✓ データサイエンスは進歩が速いが、コンテンツ更新の頻度についてのお考えは。(玉田委員)
- ✓ 最先端は進んでいるが、基礎の統計学や匿名化处理、リテラシーについては比較的長期間有効な学修内容と考えている。10年までは難しいが4~5年はもつ。その次のレベルも同様。変わっていく部分は最新の研究の中で切り開いていく部分であるが、放送大学では数年のスパンを想定して作っている。機械学習をどのように橋梁メンテナンスに生かしていくか、学生も興味を持つと思う。(中谷委員)
- ✓ 【建設 ICT】のeラーニングコンテンツの基礎的なところは社内の新人教育などでも活用できるのではないかと期待している。(福富委員)
- ✓ 最先端の技術のベースとなるものをきちっと理解しておかなければならない。点検にかかわっている行政や点検業者が、点検に最低限必要な知識のレベルとしてベースをきちっと修得でき

るコンテンツにしておけば活用が図れる。(佐溝委員)

- ✓ eラーニングは子育て中の女性も活用できる。診断というような細かな配慮は女性の方が得意。育児休業中・子育て中や、再就職を考えている女性技術者の方向けにeラーニングを作ってほしい。リカレント教育で優秀な診断技術者を養成する過程で、AIとして貴重な判断が溜まっていくことから、外部とも連携し、AIの共同研究をやっていくべき。(田底委員)
- ✓ 実務家教員の応募者があるか心配していたが、年齢構成を見ると、30代、40代の方々も多く応募されており、将来があるなというのが私の感想。(先本委員)
- ✓ 将来に向けてどうやって自立していくか、財団を設立するとかの話まできた。先のことも考えながら、事業を進めていきたい。(内海委員長)

#### 7. その他(今後の予定, 事務連絡等)

以上